

■株主メモ

事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
 定時株主総会 毎年12月
 株主確定基準日 定時株主総会・期末配当金 9月30日
 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して定めます。
 公告方法 電子公告
<https://www.septeni-holdings.co.jp/>
 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 (特別口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社
 各種お問合せ先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 郵便物送付先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 TEL : 0120-782-031 (フリーダイヤル)

株式の売買単位 100株
 証券コード 4293

社是

ひねらんかい(知恵を出そう、工夫しよう)

ミッション

ひとりひとりの
アントレプレナーシップで
世界を元気に

ビジョン

強く偉大な企業をつくる

経営方針7原則

Speed
 Stretch
 Partnership
 Fair & Open
 Originality
 Passion
 Free & Rule



株式会社セプテーニ・ホールディングス

第25期 報告書 2014年10月1日~2015年9月30日

Septeni Business Report 2015



■本報告書の中の業績予想等につきましては、本報告書作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の数値は、今後さまざまな要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

■本報告書の中の会社名及びサービス名は、各社の商標または登録商標です。

PROJECT-
With the Earth

この冊子の印刷・製本に係るCO₂は
 PROJECT- With the Earth を
 通じてオフセット(相殺)しています。



当社ならではの成長分野への注力が結果し 4期連続の最高益を更新 今後も持続的かつ飛躍的な成長を目指します

— 最近の経営環境についてはどのように捉えておられますか？

**市場の急速なグローバル化にいち早く対応したことで
他社に先んじてスピーディに成長**

当社グループの主な事業領域であるインターネット産業においては、その市場規模が順調に拡大する一方で急速にグローバル化が進みつつあります。特にスマートフォンの分野ではその傾向が顕著で、国内では市場が成熟し使い方の質が深化する一方、海外では新興国を中心にまさにこれからモバイルでのインターネットが普及する時期と言えます。そうした中で、グローバル展開するネットサービス企業が増加してきており、多国間でのサービス展開やそれに付随する広告、マーケティング施策はもはや特別なものではなくなっています。当社グループではこれまで、普及が進むスマートフォン広告にいち早く事業リソースをシフトしたほか、グローバルプラットフォームであるソーシャルメディア領域においても早期参入によって高度なノウハウを蓄積してきたことで、国内市場で一定の成果を上げてきました。これらに加え、日本・アジア・欧米間でのインターネット広告のクロスボーダー取引体制を構築したことで、このようなインターネット産業のグローバル化がもたらした事業機会を確実に捉える

株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表取締役社長 佐藤 光紀

ことができました。当期においては、北米を中心とした海外事業の売上が連結売上高の13.8%にまで拡大し、当社グループの重要な成長ドライバーになりつつあります。

— 当期[2015年9月期]の取り組みおよび業績についてお聞かせください。

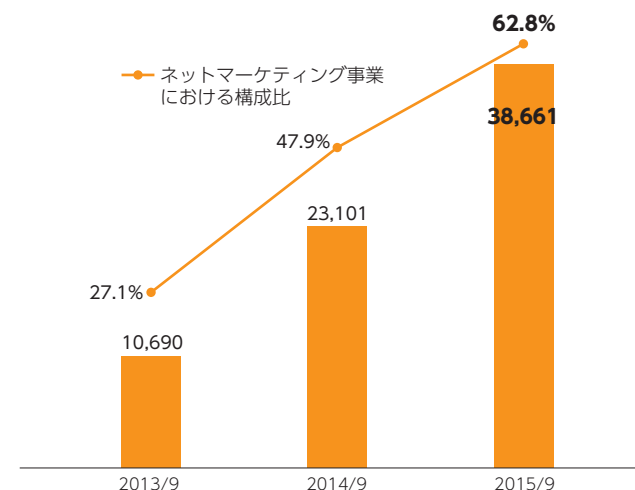
**主力のネットマーケティング事業では
注力分野での収益化が進み4期連続で営業利益率を改善**

当期はネットマーケティング事業が連結業績を牽引し、売上高で645億円、営業利益は27.5億円となり、4期連続で全指標での過去最高を更新しております。

主力のネットマーケティング事業では、「モバイル」、「ソーシャル」、「グローバル」の各注力分野で高成長が続いたことで

モバイル分野

II スマートフォン広告売上推移 (単位:百万円)



売上成長が加速しつつ生産性も向上いたしました。営業利益が大幅に伸長した結果、営業利益率は6.0%となり4期連続で改善し、高成長かつ高収益な業態への転換が進んでおります。

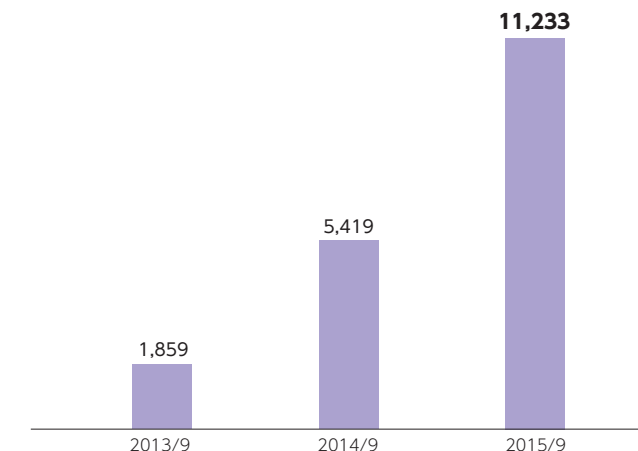
「モバイル」の分野では、スマートフォン広告売上高が前期比約1.7倍の386億円となり、構成比は約63%になりました。スマートフォン広告の需要が拡大している中で商品の多様化も進んでいます。特に当社グループが得意とするネイティブ広告(インフィード広告)領域が業績を牽引しており、市場シェアも向上いたしました。

また、「ソーシャル」の分野では主力のFacebook広告に加え、Twitter広告の成長加速も寄与し、売上高は前期比約2.1倍の112億円に伸長いたしました。

「グローバル」の分野についても、北米拠点での取扱高拡大

ソーシャル分野

II ソーシャル事業売上推移 (単位:百万円)
(Facebook、Twitter、LINEの合計)



に加え、韓国の子会社を新たに連結対象にしたこともあり、海外売上高が前期比約2.2倍の88億円に伸ばしました。その結果、当事業における売上構成比は14.4%に達し、グローバル化が一層進展しております。

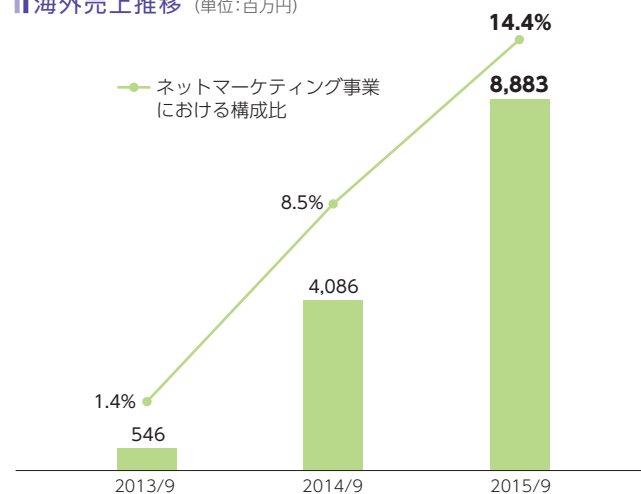
今後も成長分野である「モバイル」、「ソーシャル」、「グローバル」の3分野にさらに注力し、市場シェアの拡大と収益性の向上を図ってまいります。

メディアコンテンツ事業では選択と集中を行い モバイルゲーム事業をノンコア事業に

モバイルゲーム事業では、ネイティブゲームを2本リリースいたしました。「キングダム -英雄の系譜-」は堅調に推移しましたが、その他のタイトルは伸び悩み、アクセルマーク

グローバル分野

海外売上推移 (単位:百万円)



は減収減益となりました。

一方、マンガコンテンツ事業では、プラットフォームの規模拡大に向けて、作家の育成と配信プラットフォーム「GANMA!」の拡充の両面で積極的な先行投資を行いました。その結果、「GANMA!」の2015年10月の月間ページビューは4.7億PVに、11月には累計ダウンロード数が200万件を突破するまでに拡大し、今後の更なる成長への確かな手ごたえを感じております。同時に自社IPの商業化を推進し、11月までの実績としては、テレビアニメを1作品、書籍出版を10作品手がけています。これらの結果、当期のマンガコンテンツ事業を中心とした新規事業への先行投資に係る損失は、前期比約1.6倍の511百万円に拡大いたしました。今後は、マンガコンテンツ事業におけるプラットフォームの規模拡大に加え、収益化も目指してまいります。

なお、事業ポートフォリオの最適化という観点から、次期[2016年9月期]よりモバイルゲーム事業(アクセルマーク)の位置づけを「ノンコア事業」に変更することを2015年11月に決定いたしました。事業環境の変化に対応し、当社とアクセルマーク両社が企業価値の最大化を図るためには、アクセルマークの経営の独立性と自由度を高めることが必要との判断です。11月9日には、当社が保有するアクセルマーク株式の一部を売却し議決権比率が50%未満になったとともに、12月16日をもって役員の兼任も廃止いたしました。これにより、アクセルマークは当社の子会社ではなくなりましたが、国際会計基準(IFRS)の連結決算上は引き続き連結対象となります。

——中期経営方針の進捗と今後の方向性についてお聞かせください。

中長期の持続的成長と将来への投資を両立させ 利益倍増実現後の未来を見据える

2013年11月に発表した中期経営方針のコンセプトは「利益倍増」で、高収益事業の構成比を高め、広告に次ぐ事業の柱をつくることで企業価値向上を目指すものです。発表から約2年が経過した今、我々が注力している「モバイル」、「ソーシャル」、「グローバル」の3分野では着実に競争力が高まり、成長市場をリードすることができ始めていると認識しており、「利益倍増」は次期に達成することを目指しています。

おかげさまで足もとの業績は順調ですが、一方で、その次を考える時期に入っていると感じております。利益倍増のその先へと、今こそ持続的な成長のための仕組みづくりに注力すべきだと考えています。中長期での持続的成長と、将来の主力となる事業への投資、時に相反するこの2つの要素ですが、これらは同時に追いかけるべきものだと考えています。それに対して我々はベストを尽くして経営してまいりますので、ご理解とご支援をいただければ幸いです。

また、持続的成長の実現には優秀な人材が不可欠ですが、当社グループでは、Great Place to Work® Institute Japanが実施した2015年「働きがいのある会社(日本版)」ランキングにおいて、従業員数100~999名の企業のカテゴリにて4位にランクインすることができました(昨年は8位)。今後も当社グループのミッションである「ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に」のもと、世界中



のあらゆるメンバーがその才能を存分に発揮できるよう、女性の活躍支援やワークライフバランス向上をはじめとするダイバーシティを推進し、フラットで魅力的な組織づくりを進めてまいります。

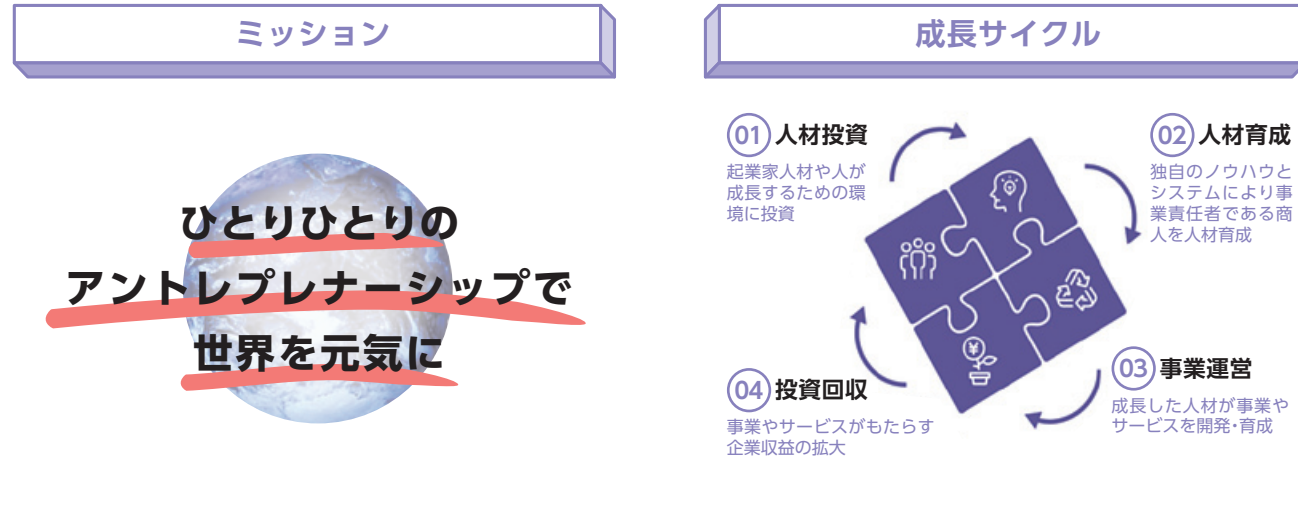
——最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当期は3期連続の増配を実施 成長分野への積極投資でさらなる成長へ

株主の皆様への利益還元については、従来どおり連結純利益の15%程度を目安にしております。当期の1株当たり配当金は、当期純利益が大幅に伸ばしたことにより、前期に比べ5円増の14円とさせていただきます。増配は3期連続となります。今後も業績の拡大に応じた適切な利益配分を基本としながら、安定配当の継続にも配慮していく方針です。

まずは中期経営方針の「利益倍増」を実現させ、同時に成長分野への積極投資を行い、持続的かつ飛躍的な成長を目指していきます。引き続きご支援をよろしく願い申し上げます。

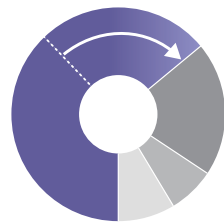
グループの最大の資産は当事者意識が高く、起業家精神溢れる人材です。
下記のミッションのもと、起業家人材に積極投資することにより、
企業としての持続的成長を実現しています。



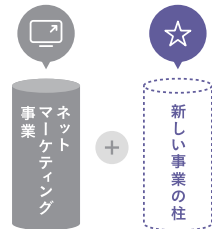
中期経営方針

2013年11月よりこの中期経営方針を掲げ、その後も成長が加速しています。
2016年9月期は「利益倍増」の達成を目指して邁進いたします。

|| コンセプト 「利益倍増」

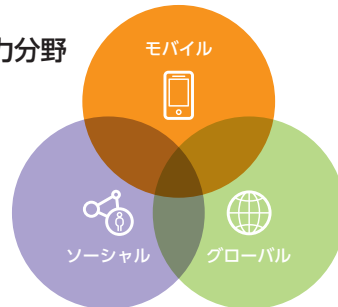


高収益事業の
構成比アップ



広告に次ぐ
事業の柱をつくる

|| 注力分野



ミッションや中期経営方針に基づいて、当期もさまざまな取組みを展開いたしました。

 ミッション	2014年10月 株式会社Pharmarket、 医療医薬品の流通仲介 サービス開始 Pharmarket	2014年10月 社会貢献プラットフォーム を運営するgooddo株式会社 を設立 gooddo	2015年2月 2015年「働きがいのある会社(日本版)」 ランキングにおいて4位に選出されました (従業員数100 ~999名部門) GREAT PLACE TO WORK Best Workplaces 2015 Japan
 広告に次ぐ 事業の柱	2015年4月~ マンガコンテンツ 事業において書籍化 をはじめとする 自社IPの商業化を 推進	 ソーシャル	2015年9月 Instagram Ads APIを利用した PYXIS for Instagramを開発、 提供開始 PYXIS
 モバイル	2015年9月 フクロラボと戦略的 パートナーとして連携、 スマホアプリ向け ディープリンクサービス提供	 グローバル	2015年度 グループ全体における 海外売上高比率が 13.8%に拡大

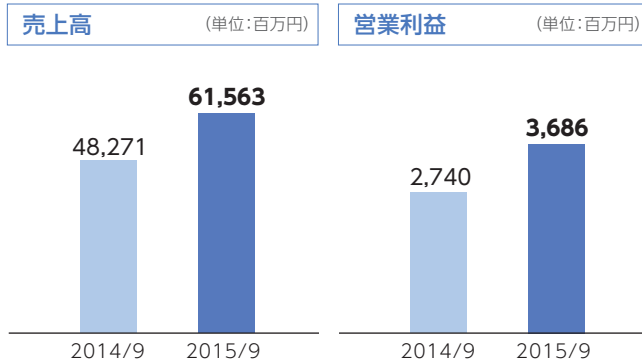
グループ各社の主体的なチャレンジにより持続的成長を実現

Septeni 株式会社セプテーニ インターネット広告事業	Septeni Original 株式会社セプテーニ・オリジナル Webサービスの企画・開発
TRICORN メール配信もCRMももっとやわらかく トライコーン株式会社 CRMサービス事業	Septeni Septeni America, Inc. 北米地域におけるインターネットマーケティング事業
COMIC SMART コミックスマート株式会社 マンガコンテンツ事業	vivivit 株式会社ビビビット マッチング型人材採用プラットフォーム事業
Septeni Ventures 株式会社セプテーニ・ベンチャーズ 新規事業の開発	etc...

ネットマーケティング事業

業績理解のポイント | 業容拡大と収益性向上を両立

主要な事業内容：
インターネットを活用した包括的なマーケティング
支援サービス全般



■全般

- ・「モバイル」、「ソーシャル」、「グローバル」の各注力分野での高成長が続き、売上成長が加速しました。
- ・生産性が向上し営業利益も大幅に伸長、営業利益率は6.0%となり4期連続で改善しました。

■モバイル

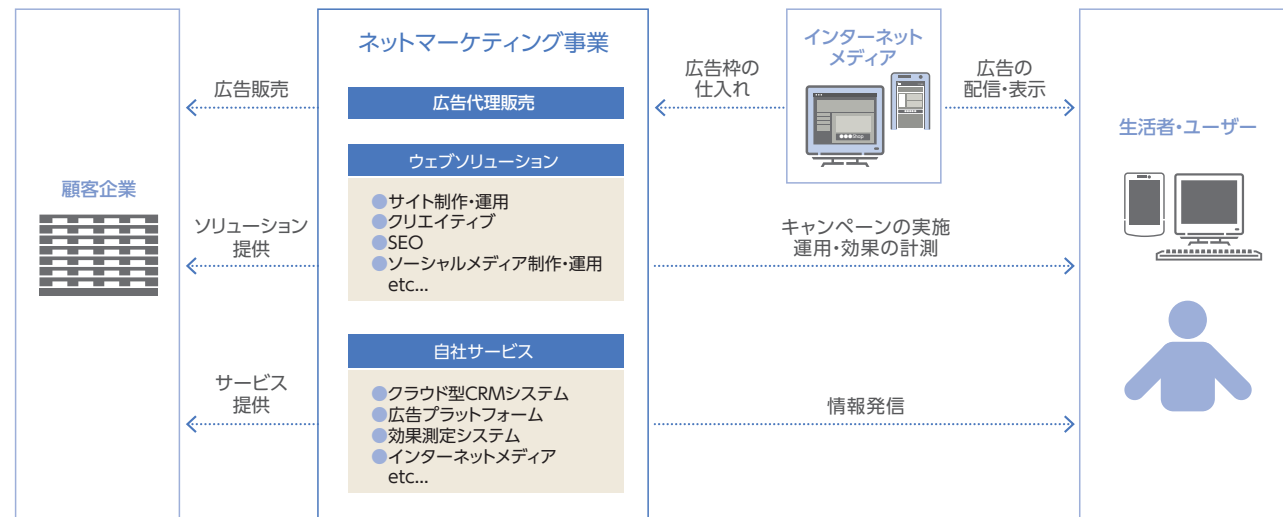
- ・スマホ広告売上高は前期比約1.7倍の386億円となり、構成比は約63%になりました。
- ・ネイティブ広告領域が牽引し市場シェアが向上しました。

■ソーシャル

- ・売上高は前期比約2.1倍の112億円に伸長しました。
- ・主力のFacebook広告に加え、Twitter広告の成長加速も寄与しました。

■グローバル

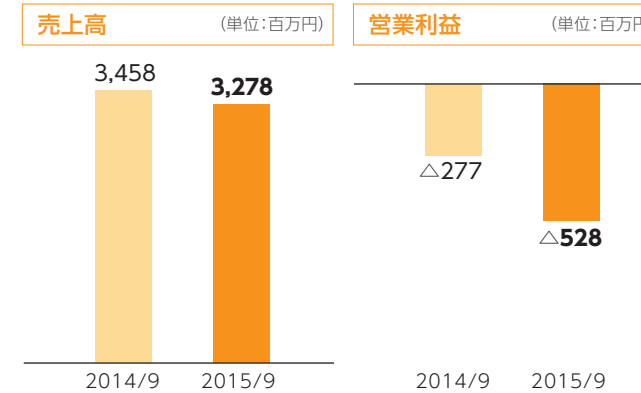
- ・海外売上高は前期比約2.2倍の88億円に拡大し、構成比は約14%に上昇しました。
- ・北米拠点の取扱高が拡大するとともに、韓国子会社を新たに連結しました。



メディアコンテンツ事業

業績理解のポイント | 先行投資を積極化

主要な事業内容：
ゲームを中心とするスマートフォン向けデジタルコンテンツの提供、自社IP（知的財産）の企画・開発を目的としたマンガ家の育成・輩出及びマンガ配信サービスの運営等

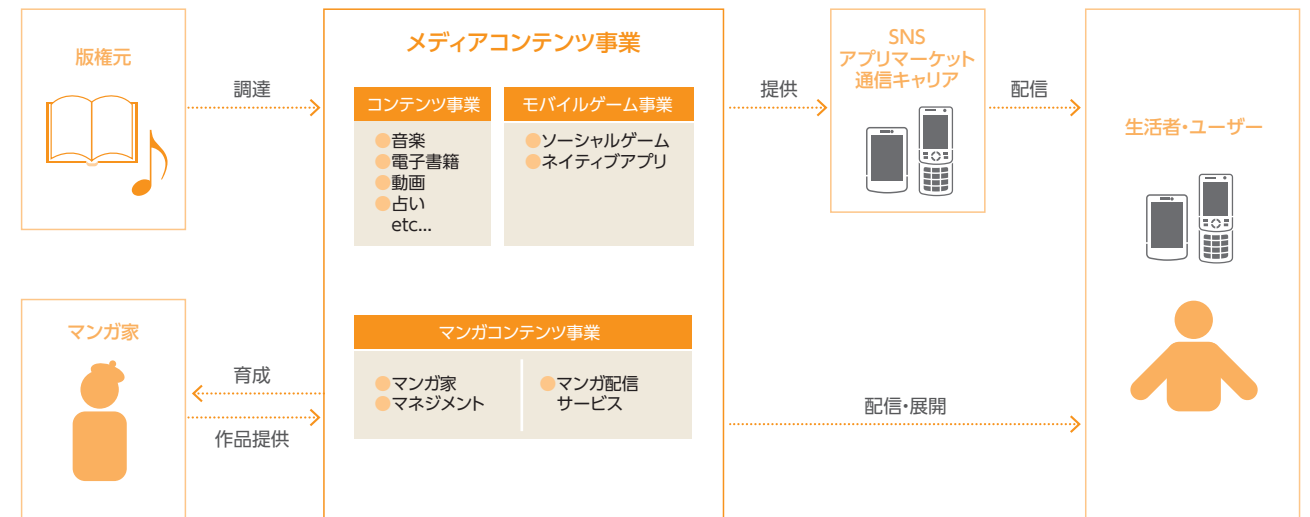


■モバイルゲーム事業

- ・ネイティブゲームを2本リリースしました。「キングダム-英雄の系譜-」は堅調に推移するも、その他のタイトルが伸び悩み、アクセルマークは減収減益となりました。

■マンガコンテンツ事業

- ・配信プラットフォームの規模が着実に拡大しました。直近の累計ダウンロード数は200万DLを突破し、月間ページビュー数は4.7億PVにまで成長しました。
- ・自社IPの商業化を推進し、期中にアニメ1作品、書籍3作品を手がけました。
- ・マンガコンテンツ事業を中心とした新規事業への先行投資に係る損失は、前期比約1.6倍の511百万円に拡大しました。



※2016年9月期以降、モバイルゲーム事業、コンテンツ事業は、ノンコア事業に変更しています。

マンガコンテンツ事業

～マンガ家を、子供達の憧れの職業にしたい

マンガコンテンツ事業は「マンガ」を中心とした自社IP(知的財産)の企画・開発を目指し、マンガ家の育成・輩出及び配信サービスの運営を行っています。

インターネット発の優れたマンガ作品づくりと事業としての収益化に向けて、今後もマンガ家の育成とプラットフォーム拡大のための積極的な先行投資を続けてまいります。



連載型新作マンガ
配信サービス
GANMA!

無料でオリジナル新作マンガが読み放題のサービスです。
掲載作品数は2015年11月時点で57作品となりました。



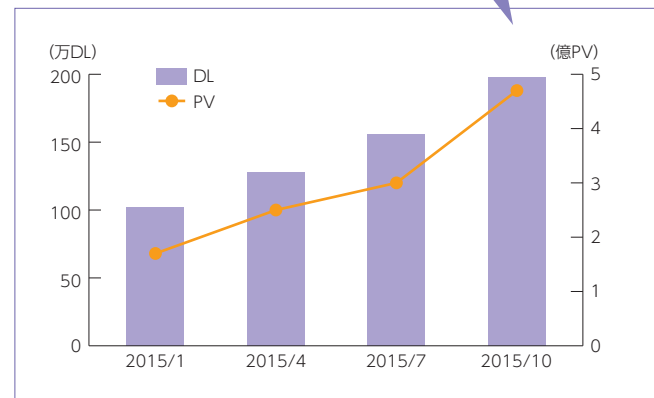
GANMA! ADスタート

当期より「GANMA!」内での広告配信を開始いたしました。このGANMA! ADでは、スマートフォンの全画面を使って表示されるマンガ風の表現等を用いたネイティブ広告を配信しています。これにより、当社グループの主力事業であるネットマーケティング事業と、次なる事業の柱を目指すマンガコンテンツ事業間にシナジーが期待されます。



累計ダウンロード数: **200万DL突破** (2015年11月7日)

月間PV数: **4.7億PV** (2015年10月時点)



自社IPの商業化を推進

2015年4月から12月までの間に、計12タイトルが書籍化されました。今後も多くのタイトルが書籍化を控えています。



書籍化以外にも様々な形で自社IPが活用、商業化されています。

アニメ化



(C) 藍(あい)/コミックスマート
「ミリオンドール」製作委員会

グッズ販売



イベント開催



業績ハイライト

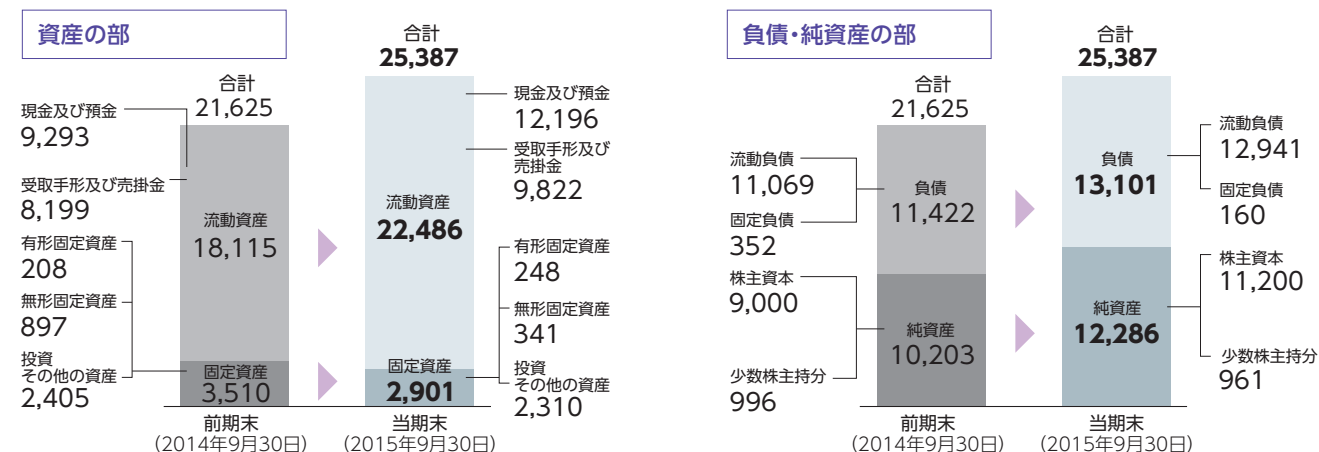
II 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)

- 4期連続で全指標での**過去最高を更新**いたしました。
好調なネットマーケティング事業が連結業績を牽引し、マンガコンテンツ事業への先行投資拡大を吸収しております。
- ROEが大幅に伸長**いたしました。営業利益の伸びに加え、DM事業売却に伴う特別利益も寄与しています。

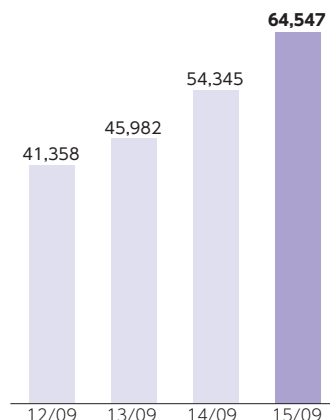
科目	前期 (2014年9月期)	当期 (2015年9月期)	増減率
売上高	54,345	64,547	+18.8%
営業利益	2,259	2,753	+21.9%
経常利益	2,362	3,118	+32.0%
当期純利益	1,549	2,398	+54.8%
ROE (自己資本当期純利益率)	18.5%	23.4%	+4.9pt

II 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)

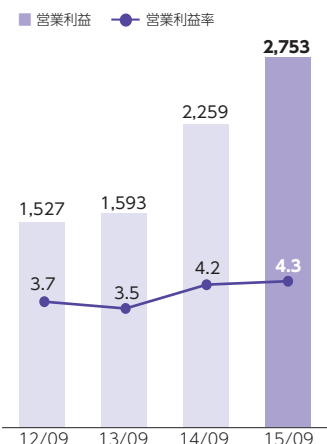
- 総資産:現金及び預金や受取手形及び売掛金の増加等により、前期末に比べて3,762百万円増加いたしました。
- 負債:買掛金や短期借入金等の増加により、前期末に比べて1,679百万円増加いたしました。
- 純資産:当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等により、前期末に比べ2,082百万円増加いたしました。



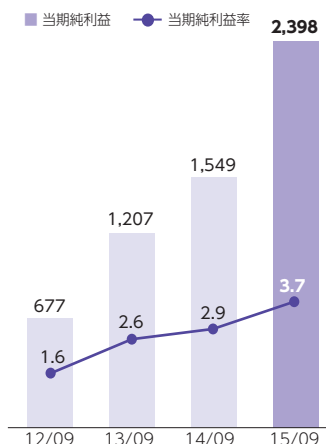
売上高 (単位:百万円)



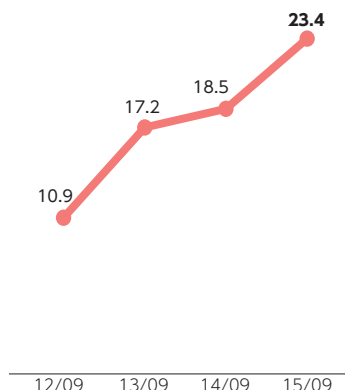
営業利益
営業利益率 (単位:百万円)
(単位:%)



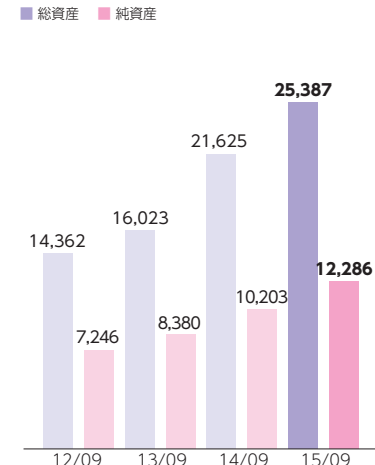
当期純利益
当期純利益率 (単位:百万円)
(単位:%)



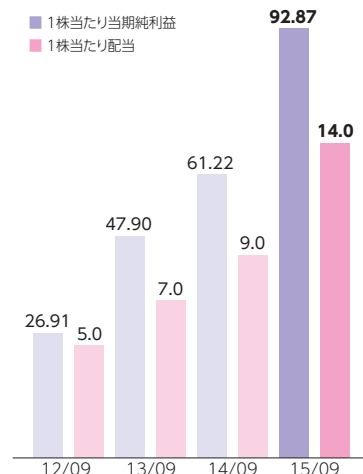
ROE
(自己資本当期純利益率) (単位:%)



総資産
純資産 (単位:百万円)
(単位:百万円)



1株当たり当期純利益
1株当たり配当 (単位:円)
(単位:円)



※2013年10月1日付で1:200の株式分割を実施。上記の数値は2012年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出。

事業の選択と集中を強化

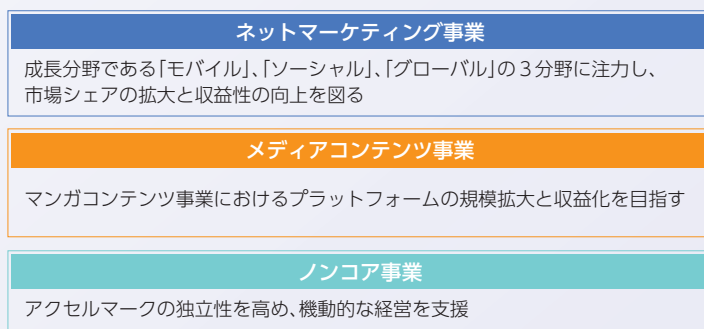
モバイルゲーム事業(アクセルマーク)を「ノンコア事業」に変更

- ◆当社が保有するアクセルマーク株式の一部を2015年11月9日付で売却し、議決権比率は50%未満に低下しました。
- ◆兼務役員は2015年12月16日に開催されたアクセルマークの第23回定時株主総会をもって全員退任しました。
- ◆アクセルマークは当社の子会社ではなくなりますが、IFRSの連結決算上は引き続き連結対象となります。

2015年9月期の事業区分



2016年9月期の事業区分と方針



IFRS適用 ~グローバルカンパニーとしての飛躍を目指して

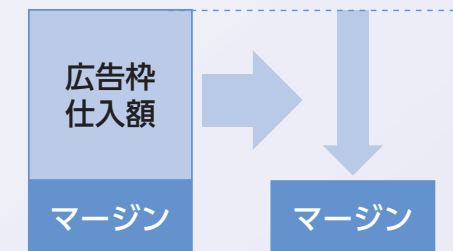
当社グループは、2016年9月期第1四半期決算より国際会計基準(IFRS)を適用いたします。

IFRSで何が変わる?

1 収益が変わります。

収益(トップライン)の計上方法

売上高(日本基準) → 収益(IFRS)



ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売において、従来の総額(グロス)計上から純額(ネット)計上に変更いたします。

2 のれんの取扱が変わります。

日本基準では定額償却していましたが、IFRSでは償却いたしません。一方、毎期減損テストを実施するため、減損リスクを負うことになります。

3 「Non-GAAP営業利益」を任意開示いたします。

Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標となります。

II 会社概要 (2015年9月30日現在)

商号	株式会社セプテーニ・ホールディングス (SEPTENI HOLDINGS CO., LTD.)
本社所在地	東京都新宿区西新宿八丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー
電話番号	03-6863-5623 (FAX)03-6863-5624
事業内容	株式等の保有を通じたグループ企業の統括、管理等
設立	1990年10月
資本金	20億70百万円
連結従業員	正社員846名 / 従業員1,002名

II 役員構成 (2015年12月18日現在)

代表取締役社長	佐藤光紀(前列中央)	社外取締役	木村達也(後列右端)
専務取締役	上野勇(前列左)	社外取締役	岡島悦子(後列左端)
常務取締役	清水一身(前列右)	常勤監査役	野村宗芳
取締役	松田忠洋(後列右から2番目)	監査役	柳克久
取締役	唐木信太郎(後列左から2番目)	監査役	廣渡嘉秀
取締役	瀬戸口佳奈(後列中央)	監査役	古島守



II 株式の状況 (2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	74,016,000株
発行済株式総数	27,700,700株
株主数	2,983名

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,251,300	16.40
2. 株式会社ビレッジセブン	3,343,800	12.90
3. 七村 守	3,190,100	12.31
4. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,183,900	8.43
5. ヤフー株式会社	1,400,000	5.40
6. 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	1,111,800	4.29
7. GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	804,132	3.10
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	505,600	1.95
9. MSCO CUSTOMER SECURITIES	481,500	1.86
10. 清水 洋	440,000	1.70

(注)当社は、自己株式1,784,600株を保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。また、持株比率についても、自己株式を控除して算出しております。

所有者別分布

